

プログラミング環境構築手順

概要

プログラミングの環境構築にあたって、目標は「windows ユーザが c 言語、python でコーディングができる状態」とします。

1 ubuntu のセットアップ

1.1 WSL の有効化

windows キーを押して、「windows の機能の有効化または無効化」を選択する。その中の、「Linux 用 Windows サブシステム」に「

1.2 ubuntu のインストール

1.3 ubuntu の初期設定

1.4 VScode の設定

2 Tex のセットアップ

2.1 Tex live のインストール

[ここ](#) から、Tex Live のセットアップファイルをダウンロードする。

「install-tl-windows.exe」をクリックするとファイルのダウンロードが始まる。

ダウンロードしたファイルを起動し、手順に沿って進める。(基本、Enter 連続で OK)

※ インストールは長時間かかります。(3 時間程度)

インストールが完了したら、PC を再起動する。

2.2 環境変数の設定

windows キーを押して、「環境変数を編集」を入力し選択する。上段の「○○のユーザー環境変数 (U)」の欄にある、「Path」を選択し「編集」を選択する。

「環境変数名の編集」が開いたら、右欄にある「新規 (N)」を選択し「編集」を選択する。

「C:¥texlive¥2021¥bin¥win32」を入力してタブを閉じる。(バージョンは適宜変える必要あり)

2.3 VScode の設定

PC の再起動後、VScode を起動する。Extensions [Ctrl + Shift + x] から、LaTeX workshop をインストールする。その後、settings.json を開く。この manual フォルダ内の「json_forTex.txt」の内容をコピー&ペーストして保存する。左下の歯車マークをクリックし、「Command Palette」をクリックする。

出てきた検索欄に、「LaTeX Workshop: Build with recipe」と入力し、「latexmk」を選択する。terminal [Ctrl +

Shift + @] から新規ターミナルを開く。

ターミナルで、「mktexler」と入力し「Enter」を押す。

その後、アプリを再起動する。

2.4 Tex の動作確認

フォルダ内の「test.tex」を任意のフォルダにコピーし、VScod から「test.tex」を開き、[Ctrl + Alt + b] でファイルのビルド (pdf ファイルの生成のこと) を行う。

フォルダ内に、「(ファイル名) .aux」、「(ファイル名) .log」、「(ファイル名) .pdf」が生成されれば、無事に環境が構築されている。[Ctrl + Alt + v] で pdf ファイルを表示することができる。